

	横浜市金沢保護司会	
	発行人	露 木 育 夫
	編集人	中 山 賢 治
	事務局	金沢区社会福祉協議会内
	電話	045-788-6080
印刷所	山 陽 印 刷 (株)	



初秋の三溪園
聴秋閣
(広報部会撮影)



公共の安全と秩序維持のために

金沢警察署長 警視 岩 淵 浩 二

金沢保護司会の皆様は、法務省が所管となり「犯罪や非行をした人の立ち直りを地域で支える」という社会貢献をされている方々です。この社会貢献を行う上で「自分の時間や家族との時間」を犠牲にして諸活動されていることに深い敬意を申し上げます。

私が、警察署長という立場で日々署員に話をしていることは「警察という道は、奉仕と犠牲の道である」ということを説いています。“社会への貢献こそ喜びを感じられなければ、また、そのことを忘れたのならば、職を転じたほうが良い”と。警察は、法律を根拠に秩序を維持する責務があります。これを私は「国益の保護」と語り、公共の安全と秩序が乱れれば、国の繁栄はないからです。

人は生まれながらに持っている「すばらし

い性格」があり、我が国は、幼少期から道徳、教育等の機会で「磨き、鍛え、育てる」という環境形成が築かれています。しかし、警察の取り扱う事象の全てが「人が作り出す有様」です。人の感情による行動により、秩序を乱す要因が生まれます。その要因とは、“怒り、妬み、嫉妬、物欲、わがまま、絶望”等から生まれる人の行動です。

警察は、過ちを犯した者には法律により所要の措置を展開するわけですが、その後の「更生保護」という活動を支える保護司会は、再犯をさせないという「国益の保護」であり、公共の安全と秩序を維持する両輪の立場であります。この社会に貢献していく組織として、警察と保護司会の立場を尊重し、地域の安全安心に寄与していきたい。今後ともご協力よろしくお願ひします。

部会活動報告

【総務部会】

日帰り研修の報告

保護司 小泉 啓子

6月8日に日帰り研修が行われ、横浜地方裁判所で裁判官より説明を伺い、その後いくつかの裁判の傍聴をしました。

裁判の傍聴では、静まりかえった法廷の中、裁判長・検察官・弁護士・書記官が待機し、刑務官に伴われて被告が入廷しました。人定質問に始まり検察官の起訴状朗読、弁護士・被告人の意見陳述が続きました。検察官の朗読は細部に渡り、被告人にも淡々と問いかけるものでした。被告人も時には声をつまらせながらも答えていました。

検察官・弁護人の問いかけには

- ・具体的で被告人が答えやすいこと
- ・被告人の心情に訴えるものであること
- ・自分の罪について振り返らせること

など、保護司として見習うべきものが多くありました。また、罪と向き合うことの重さを改めて考えさせられました。

午前中の山下公園の散策、京急ミュージアムの見学、中華街での食事と合わせて、有意義な一日に過ごすことができました。



【薬物対策部会】

「薬物乱用防止教室」

神奈川県薬物乱用防止指導員 保護司 寺木 博

薬物乱用防止教室はこの数年で依頼される学校が増えてきて、令和4年度は区内の小学校20校、中学校6校、計2614名の児童・生徒に実施しました。薬物使用の低年齢化が問題になっている昨今、薬物には絶対に手を出さないということを早い段階から知ってもらうために、薬物の正しい知識、体に及ぼす影響、くすりの正しい使い方、誘われたときの断り方などを中心に教室を実施しています。

また、薬物に手を出す要因として、小児期の逆境体験（虐待・ネグレクト・家庭内暴力・いじめ等）が影響していると言われています。生育環境の中であまり愛情を受けず育った子どもは「自分は誰にも可愛がってもらえないからもうどうでもいい」と感じ、自己肯定感が低い自信のない子に育つ傾向にあります。人を信じられなくなり「人は裏切るが、くすりは裏切らない」と薬物に頼っ

ていくケースが見られます。一度使ったらやめることが難しいのが、薬物依存症という厄介な病気です。

そうならないためにも、今後は小・中学生だけでなく子育て中の保護者の方にも薬物乱用防止教室を呼びかけていきたいと思っています。



横浜市立大道中学校にて

“第73回社会を明るくする運動”

6月21日に金沢区役所にて金沢保護司会の露木会長より永井区長に第73回『社会を明るくする運動』（社明大会）の総理大臣メッセージの伝達が行われ、金沢区内で令和5年度の『社会を明るくする運動』がスタートいたしました。



総理大臣メッセージを永井区長（右から2人目）に伝達



金沢八景駅前（7月1日）



富岡第二（7月30日）



◆訂正

前号（第96号）で誤りがありました。
P3 ホゴちゃんぬりえ についての掲載写真の説明文

【誤】 聖星幼稚園

【正】 聖星保育園

ここにお詫びして訂正いたします。

【行動目標】

- ① 犯罪や非行のない安全・安心な地域社会を築くための取組を進めよう
- ② 犯罪や非行をした人たちの立ち直りを支えよう

各地区社協では地域にあった特色ある社明大会が開催されます。皆様の積極的な参加をお待ちしております。



金沢文庫駅西口（7月1日）



八景島駅前（8月5日）

令和5年度地域別社明大会日程（7月30日現在）

富岡第三 7月22日実施

富岡第二 7月30日実施

六浦西 9月2日

六浦 10月7日

金沢シーサイドタウン 10月15日

金沢南部 11月3日

六浦東 11月5日

尚、その他の地域は計画中です。



聖星保育園

◆ 保護司の異動

永年に亘るご尽力に感謝いたします。

定年（令和5年3月31日付）

三島 眞彦

退任（令和5年3月31日付）

廣谷 繁樹 相川 美枝

訃報

保護司 細谷 健治様が令和5年5月8日に逝去されました。

謹んでご冥福をお祈りいたします。

◆ 金沢保護司会総会開催

とき：令和5年5月16日(火)

ところ：いきいきセンター金沢

当日は永井金沢区長様をはじめ多くのご来賓の方々をお迎えして金沢保護司会総会が開催されました。

定数27名、出席者24名、委任状2名で総会成立要件が満たされ、総会がスタート。

提案された議題7件は全会一致で承認されましたことをご報告いたします。

尚、露木会長より令和5年度から令和6年度の役員体制を紹介されました。

◆ 金沢保護司会役員(令和5年5月16日付)

令和5年度～令和6年度

会長	露木 育夫
副会長（総務部会長）	外川真由美
副会長	寺木 博
常務理事（薬物対策部会長）	阿部 和裕
理事 福井 宏	合田 直子
理事（広報部会長）	中山 賢治
理事（協力組織部会長）	百井 高志
理事（研修部会長）	粉川 浩一
理事（犯罪予防活動部会長）	小泉 啓子
理事 田中 一成	関根とみ江
監事 佐野 主水	常山 正樹

◆ 金沢区更生保護女性会(令和5年5月24日付)

令和5年度～令和6年度 役員

会長	田附 園子
副会長	青木美以子 真鍋 政代
常務理事	杉山 喜子

◆ 更生保護女性会活動報告

社明啓発キャンペーン

金沢区更生保護女性会 会長 田 附 園 子

8月5日、暑さの中、八景島駅頭、海の公園一帯での社明運動啓発キャンペーンを行いました。この事業はコロナ禍を除いて毎年続け、今年度で15回目になります。毎回、保護司会の力強いご協力をいただいている事業でもあります。いつも、同じ時期に行いますが、今回ほど気象庁の言う「危険な暑さ!」を実感したことはありません。次回からは、時期を変え、更女会のメンバーが活動しやすい季節にと考え始めています。しかし、この季節、海の公園ではビーチスポーツが盛んに行われ、若者がここに集まる季節、そして、子どもたちが夏休みに入り、多くのファミリーが八景島を訪れます。ビーチスポーツを楽しむ若者や小さい子連れのファミリーに直接、社明運動の趣旨を伝えるにはとても良い機会なのです。

実際に、この日にも、高校生のグループに配布グッズを手渡したところ中身に興味を示してくれました。薬物禁止のパンフレットも見てくれたでしょう。遊びの中では忘れてしまうかもしれませんが、何かのとき、記憶に残っていることに遭遇したとき、いつかどこかで「大人たちがこんな活動をしていたな・・・」と思い出してくれたなら、汗まみれのこの活動も成果を得られたことになります。目には見えない形の成果に期待をこめて、次回につなげてまいります。あと片づけの汗をぬぐい、終了となりました。

編集後記

毎年、今年の夏が一番暑いと思っていますが、確かに暑い日々でした。北海道生まれにとってはつらい季節。我が家の猫たち4匹もぐったりし、涼しい場所を探してウロウロ、ガサゴソ。保護司の活動には暑いも寒いも関係ありませんが、まれに物事がうまく進むとほっこりした気分になります。(三上)

編集委員

合田 直子・井上 登・三上 章彦・福井 宏
寺木 博・中山 賢治